

令和5年度 国語科「現代の国語」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 1～8組
教科書	新編現代の国語(東京書籍)	副教材等	国語便覧(大修館書店) チャレンジ常用漢字(第一学習社)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	『ルリボシカミキリの書』	・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	・筆者の熱中したことや「原点」を表現に即して捉え、理解する。 ・「好きなことがあること」がなぜ大切なのかを理解し、筆者の主張を読み取る。 ・本文の内容を踏まえて、自分自身の興味や関心について考え、スピーチをする。(言語活動)	・小テスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・記述の確認
5	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	『気になるニュースについて話そう』	・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。	・複数のメディアから話題についての情報を収集する。収集した情報を整理し、発表の構成を考えて発表メモを作る。 ・「班の中でニュースを伝え合う例」を参考に、司会などの役割を決め、班の中でニュースを伝え合う。	・行動の確認 ・記述の確認
6	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	『未来をつくる想像力』	・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。	・「イメージの貧困」がなぜ起きるかを理解する。 ・筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解する。 ・本文の内容を踏まえて、実際の生活やメディアの特長について考え、話し合う。(言語活動)	・小テスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・記述の確認
7		『水の東西』	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める	・本文が、日本と西洋の具体例を挙げ、分かりやすい文章となっていることを理解し、対比を通して論じていることを押さえる。 ・水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。 ・日本文化について興味や関心を持ったことを、二分程度でスピーチする。(言語活動)	・小テスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・記述の確認
期末考査					
9	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	『集めた情報の内容を検討して意見文を書こう』	・情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。	・「課題」の中から一つを選び、身近な社会生活や、新聞・テレビのニュースなどから、興味・関心のあることをメモに書き出し、テーマを決める。 ・互いの意見文を読み合い、意見交流を図る。(言語活動)	・行動の確認 ・記述の確認
10	・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。	『スキマが育む都市の緑と生命のつながり』	・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。	・植物の生長の特性を捉え、都市部においてスキマの植物が豊富な理由をまとめる。 ・「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを整理する。 ・「都市部の緑の在り方」についての筆者の主張を読み取る。	・小テスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・記述の確認

11	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。</li> <li>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。</li> </ul>	『無彩色の色』  『鍋洗いの日々』	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を、具体例の役割を押さえながら読み取り、筆者の価値観と主張をつかむ。</li> <li>自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>灰色に対する筆者の評価とその理由を読み取る。</li> <li>カラー写真と白黒写真を比較して気づいたことを話し合う。(言語活動)</li> <li>本文を通読し、筆者の「思わく」や培った経験からの自負と、ホテルの調理場の現実や職場環境をまとめ、現実の厳しさを知った筆者の心情を理解する。</li> <li>仕事の苦勞や喜びについて考える。今までに調べたり、話を聞いたりしたことのある職業について、仕事の苦勞や喜びの体験談を発表する。(言語活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>行動観察</li> <li>ワークシート分析</li> <li>記述の確認</li> </ul>
12			期末考査		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にする</li> </ul>	『真の自立とは』	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。</li> <li>現代における「若い」や「大人」になることについて、筆者の言う「自立」という観点から考え、話し合う。(言語活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>行動観察</li> <li>ワークシート分析</li> <li>記述の確認</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> </ul>	『りんごのほっぺ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「T君」と「私」との関わりや、「私」の「T君」への思いを整理する。</li> <li>「T君」の両親に対面した時、および朗読劇に参加した時の「私」の心情を表現に即して捉え、説明する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>行動観察</li> <li>ワークシート分析</li> <li>記述の確認</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>題名にこめられた筆者の思いについて考えたことをまとめ、戦争体験を語り継いでいくことの意義について話し合う。</li> <li>戦争体験を語り継いでいくことの意義について話し合う。(言語活動)</li> </ul>	

### 3 評価の観点

知識・技能	<p>ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、経緯と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。ウ 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。</p>
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にする</p> <p>【書く能力】ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え</p> <p>【読む能力】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

### 4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- 自分自身で答えを考え、メモを取る姿勢を身につけてください。
- 辞書を用意し自らの意思で積極的に活用して下さい。
- 分からないところはためこまずに積極的に質問をするようにして下さい。
- 課題や提出物は期限を守り、提出するように心掛けて下さい。